

令和6年7月2日

各位

九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門
システム生物学講座 合成生物学分野 助教候補者選考委員会
委員長 竹川 薫

九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門
システム生物学講座 合成生物学分野
助教候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり大学院農学研究院 生命機能科学部門 システム生物学講座 合成生物学分野助教候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人員

助教（テニュアトラック）・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する助教（テニュアトラック）は、大学院農学研究院 生命機能科学部門 システム生物学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 生命機能科学専攻 システム生物学教育コース、および農学部 応用生物学コース 応用生命化学分野担当教員となります。

システム生物学講座は、遺伝子制御学分野、細胞制御工学分野、合成生物学分野、発酵化学分野、微生物工学分野、土壌環境微生物学分野、生物機能デザイン分野、家蚕遺伝子資源学分野、植物遺伝子資源学分野、微生物遺伝子資源学分野の10分野からなります。

当該講座は多様な生命現象をシステムとして捉え、生物資源の持つ普遍および特異機能の、集団、個体、細胞、分子（遺伝子、タンパク質、代謝物）レベルでの統合的理解と、それらのシステム制御による生物生産・環境保全・生体機能の高度化応用に関する理論構築と技術発展を目指して教育研究を推進しています。

特に、合成生物学分野では、複数種類の生体分子（遺伝子、タンパク質など）を組み合わせた人工遺伝子回路または合成代謝経路などの生体分子システムの設計と構築を通じて、生命現象を理解する基礎研究と、有用物質生産や医療などに対する応用研究およびそれらに関する教育を行っています。当該選考では合成生物学分野の教育研究内容を継承しつつ、講座の教育研究の将来構想を踏まえ、特に実験を主体とした生命科学、生物学に基づく先進的な手法を駆使することにより、以下の教育研究を重点的に展開することが求められます。

- 1) 合成代謝経路の設計・構築とそれを利用した有用物質生産に関する教育研究。
- 2) 人工遺伝子回路の設計・構築とそれを利用した生命現象の解明、およびその応用に関する教育研究。
- 3) システム生物学または最新の生命科学研究手法と合成生物学の融合に関する教育研究。

今回採用する助教（テニュアトラック）には、これらの分野、いずれかに関連する研究経験を有し、優れた業績のある方が望まれます。また、合成生物学分野は新しい研究分野であるため、上記1)、2)、3)の教育研究に展開可能な生命科学、生物学などに関する高い実績を有し、着任後、合成生物学に専念して研究を遂行する強い意志を持った方も望まれます。なお、本職は花井泰三教授と協力して、研究教育活動に従事していただきます。

3. 採用予定時期

令和6年10月1日（予定）

4. 応募資格

博士の学位を有し（着任時までに学位取得予定を含む）、熱意をもって教育研究活動に取り組む方

5. テニユアトラック期間およびテニユア審査

本職のテニユアトラック期間は、採用された日から5年間となります。採用3年度目に中間評価を行います。また、テニユアトラック期間終了前に行う最終審査において、農学研究院助教にふさわしいと判断された場合には、上記期間終了後に承継教員助教（任期なし）となります。さらに卓越した成果・業績を上げた場合は、准教授への昇任も検討します。なお、テニユアトラック期間においては、研究エフォート80%が保証されます。研究費および環境整備費の配分制度があります。

6. 担当授業科目

(1) 大学院（修士課程）

（生命機能科学専攻システム生物工学教育コース）

必要に応じて担当していただきます。

（国際コース）

必要に応じて担当していただきます。

(2) 学部

（応用生物科学コース応用生命化学分野）

応用生命化学実験、応用生命化学発展実験等、必要に応じて担当していただきます。

（国際コース）

必要に応じて担当していただきます。

（担当可能な基幹教育科目）

自然科学総合実験等、必要に応じて担当していただきます。

なお、英語による授業および研究指導も必要に応じて担当していただきます。

7. 提出書類（書類の（1）と（2）は下記 URL の様式を用いて作成願います）

（<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/template>）

(1) 略歴書

(2) 業績目録（新しい順に記載）

I 原著論文：著者名（本人の氏名に下線を、また責任著者に*を記すこと）、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年、最新のIFと被引用数を（i）査読付き雑誌、（ii）査読なし雑誌、（iii）その他、で区分して記載すること

II 著書：著者名、題名、発行所、発行年

III 総説・解説等：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年

IV 特許：発明者名、発明の名称、特許番号もしくは特許出願番号、特許登録もしくは特許出願年月

V 国内・国際学会発表：発表者名、発表題目、発表学会名、発表年月（筆頭発表とそれ以外の別）

VI 学会等での受賞：受賞者名、賞の名称、受賞題名、学会名、受賞年月

VII 外部資金の導入実績：名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別

VIII 教育・社会貢献等の実績

IX その他：資格等

(3) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負（1,500字程度）

(4) これまでの教育実績を踏まえた今後の教育に関する抱負（1,000字程度）

（教育実績のない場合は今後の抱負）

(5) 推薦者に関する情報

応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方 2名の氏名、応募者との関係、および連絡先（メールアドレスを含む）

(6) 主要論文3編以内の電子ファイル

提出書類(1)から(5)のWord形式の電子ファイル、および(1)から(6)のPDF形式の電子ファイルをzip形式でまとめてください。また、提出されるファイル名には氏名を明記願います。

8. 面接等

審査の過程でプレゼンテーションおよび面接を行います。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。また、オンライン面接による選考を行う場合があります。

9. 勤務地

九州大学伊都キャンパスウエスト5号館（福岡市西区元岡744）

10. 応募の事前登録と提出書類のアップロード方法

(1) 事前登録：下記の書類提出に関する連絡先（事務局）*に、応募する旨のメールを令和6年8月9日（金）の17:00（日本標準時）までに送信してください（メールのタイトルを“九州大学合成生物学分野助教応募－応募者氏名”としてください）。提出書類のアップロード先（九州大学ファイル共有システム Proself）のURLを返信します。

(2) 提出書類のアップロード方法：返信メール内のリンクを開き、ファイルをドラッグ&ドロップし、アップロードをクリックすると、提出となります。Proselfには、提出書類を提出締切日までにアップロードしてください。アップロード後は、提出した旨を事務局宛にメールで連絡してください。提出ファイルの受け取りの確認をメールでご連絡します。

(3) 事前登録締切日：令和6年8月9日（金）17:00（日本標準時）

提出書類アップロード締切日：令和6年8月16日（金）17:00（日本標準時）

*書類提出に関する連絡先（事務局）

九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門 システム生物学講座 合成生物学分野 助教選考委員会事務局：

E-mail：sb-saiyo@agr.kyushu-u.ac.jp

11. 公募に関する問い合わせ先

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門 システム生物学講座
竹川 薫

E-mail: sb-saiyo@agr.kyushu-u.ac.jp

12. 労働条件等について

(1) 業務内容：九州大学大学院農学研究院における教育・研究

(2) 雇用期間：テニユアトラック期間は採用日から5年間となります

(3) 試用期間：試用期間あり（3か月）

(4) 就業場所：九州大学大学院農学研究院（福岡市西区元岡744）

(5) 就業時間、休憩時間、時間外労働：

同意に基づき、専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます

(6) 休日：土、日、祝日、12/29～1/3

(7) 賃金：年俸制（令和2年4月1日導入の年俸制）

なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します

(8) 加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

(9) 募集者の氏名又は名称：九州大学大学院農学研究院

(10) 受動喫煙防止措置の状況：敷地内全面禁煙

13. その他

- (1) 「テニユア審査における評価基準」に関しては、上記「11. 公募に関する問い合わせ先」にお問い合せ下さい。
- (2) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。
- (3) 九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (4) 九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- (5) 過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記載願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。
- (6) 本研究院，学府，学部等の教育研究概要等は，ホームページを参照してください。
(<https://ag.kyushu-u.ac.jp>)
- (7) 送付されたデータは選考以外の目的には使用しません。
- (8) 給与等についての規定および労働条件，その他勤務に関する詳細についての問い合わせ先：

国立大学法人九州大学職員給与規定：

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2635/1/2004syuki014.pdf>)

国立大学法人九州大学年俸制給与（教育職基本年俸）の適用に関する細則：

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf>)

問い合わせ先：九州大学農学部等総務課庶務係 電話: 092-802-4505

Recruitment of Assistant Professor
Faculty of Agriculture, Kyushu University

Outline:

Kyushu University is seeking an experienced individual with expertise in teaching and research for appointment as an Assistant Professor (tenure track) in the Laboratory of Synthetic Biology, Division of Systems Bioengineering, Department of Bioscience and Biotechnology, Faculty of Agriculture.

The goal of the Division of Systems Bioengineering is to deal diverse life phenomena as the system, to comprehend universal and specific functions of bioresources at molecular (genes, proteins, and metabolites), cellular, individual, and popular levels, and to establish a theory and develop a technology for application of bioproduction, environmental conservation, and biofunction by their system controls.

The laboratory of Synthetic Biology deals with education and research concerning elucidation of biological phenomena and bioproduction of useful compounds by designing and constructing biomolecular systems such as artificial gene circuits and synthetic metabolic pathways that combine multiple types of biomolecules (genes, proteins, etc.).

The duties and responsibilities of this position are as follows:

- 1) Design and construction of synthetic metabolic pathways and production of useful compounds using them
- 2) Design and construction of artificial genetic circuits, elucidation of biological phenomena using these circuits, and applied research using them
- 3) Integration of systems biology or the latest life science research methods with synthetic biology

For this recruitment, the applicant would be recruited with outstanding insight, excellent knowledge for research, and research achievement in areas 1) to 3) above. Since the field of synthetic biology is the newer research field, we are also looking for researchers who has a strong track record in bioscience, bioengineering, etc. that can be developed into education and research in 1), 2), and 3) above, and who has a strong will to concentrate on synthetic biology carry out research after assuming the position. The successful candidate will cooperate with Professor Taizo Hanai for education and research.

1. Number of Positions Offered:

One tenure-track Assistant Professor

2. Institution:

Position affiliation:

Laboratory of Synthetic Biology, Division of Systems Bioengineering, Department of Bioscience and Biotechnology, Faculty of Agriculture.

The appointee will join the teaching staff of the Program of Agricultural Chemistry in the School of Agriculture and the Course of Systems Bioengineering in the Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences.

3. Date of appointment:

October 1, 2024 (scheduled)

4. Qualifications:

- (1) Ph.D. degree or expected to obtain Ph.D. degree before appointment.
- (2) Able to work with enthusiasm for student education and research guidance as both undergraduate and graduate school teacher.

5. Tenure-Track Period and Examinations:

This tenure-track position is for a maximum five-year appointment (from the date of appointment with mid-term (3rd year) and final (5th year) examinations according to the specified criteria. The successful candidate who fulfills the criteria will be employed as a permanent Assistant Professor. If outstanding results are achieved, promotion to a permanent Associate Professor will be considered. During the tenure-track period, more than 80% of time can be used for research. Annual research and start-up expenses will be allocated.

6. Educational Duties:

The successful candidate will be expected to teach the following subjects and supervise research activities at both undergraduate and graduate levels in Japanese, with some of the teaching and supervision also done in English.

- (1) Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences (Master's course)
(Course of Systems Bioengineering)
In charge as necessary.
(International Course)
In charge as necessary.
- (2) Undergraduate School
(Program of Agricultural Chemistry, School of Agriculture)
Experiment of Agricultural Chemistry, Advanced Experiment of Agricultural Chemistry, etc. In charge as necessary.
(International Course)
In charge as necessary.
(Kikan Education)
Natural Science Experiments, In charge as necessary.

The ability to conduct class teaching and research guidance in Japanese is essential.

7. Required Documentation (provide all documents either in Japanese or English)

- (1) Curriculum Vitae
- (2) List of Research Achievements
 - I Original Papers: Name of Authors, Title, Journal Name, Volume, Pages, Published Year, IF, and Number of Citations
(Applicant name should be underlined, and indicated by (*) just in case of a corresponding author)
 - (i) Peer-Reviewed Papers
 - (ii) Non-Peer-Reviewed Papers
 - (iii) Others
 - II Books: Name of Authors, Title, Name of Publisher, Pages, Published Year
 - III Review Papers: Name of Authors, Title, Journal Name, Volume, Pages, Published Year
 - IV. Patents and Variety Registration
 - V. List of Presentations at Domestic and International Conferences: Name of Authors, Title, Conference Name, Year and Month (Distinguish between presentations as first author and others)
 - VI Academic Awards
 - VII List of Public and Private Research Grants Awarded: Name of Grant (Research Category),
 - VIII Educational Experiences and Philanthropic Activity
 - IX Others
- (3) Summary of your research activities and future research plans (approx. 750 words)
- (4) Summary of your aspirations for education in the future (approx. 500 words)
- (5) The names of two referees for your research activities and educational experience, together with their relationship to you and their contact information (E-mail address)
- (6) PDF format file of up to three of your most important publications

Combine the Word files (1) to (5) and the PDF files (1) to (6) in a single zip format archive file. Please include your name in the submitted file name.

8. Interview:

Short-listed candidates may be invited for an interview held at Ito Campus or via a remote conference system. We do not support any expenses incurred to participate in the interview, such as for travel or accommodation.

9. Employment Location:

Laboratory of Synthetic Biology, Faculty of Agriculture, Kyushu University Ito Campus, Kyushu University (Motooka 744, Nishi-ku, Fukuoka, 819-0395 Japan)

10. How to Pre-register and Upload the Application Documents:

- (1) Pre-registration: Please send an e-mail to the Administration Office* to pre-register by August 9, 2024, at 17:00 (Japan Standard Time: JST) (Please write “Kyushu University SB Asst. Prof. Application-your name” in the subject line of the e-mail). The reply e-mail from the Administration Office will include the URL of “Proself (file sharing system of Kyushu University)” for uploading the application documents.
- (2) Uploading application documents: Open the URL link in the reply e-mail, drag and drop the application documents, and click "Upload" to submit the documents to the Administration Office. Upload the electronic files to Proself by the submission deadline. After uploading the files, please send an e-mail to the administration office. The administration office will then send a message confirming the receipt of the submitted files from you.
- (3) Pre-registration Deadline: Complete pre-registration by August 9, 2024, at 17:00 (JST).
Uploading deadline: Complete uploading all application files by August 16, 2024, at 17:00 (JST).

*Contact for Submission of Documents:

Administration Office of the Selection Committee for Assistant Professor Candidates,
Laboratory of Synthetic Biology, Faculty of Agriculture, Kyushu University

E-mail : sb-saiyo@agr.kyushu-u.ac.jp

11. Contact and submission of the application documents to:

Prof. Kaoru Takegawa

Head, Selection Committee for Assistant Professor Candidates of Laboratory of Synthetic Biology,
Division of Systems Bioengineering, Department of Bioscience and Biotechnology, Faculty of
Agriculture, Kyushu University,

744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka, 819-0395, JAPAN

E-mail: sb-saiyo@agr.kyushu-u.ac.jp

12. Conditions of employment

- (1) Salary and Benefits
Appointment level to be commensurate with qualifications and experience. Salary and benefits are specified in the Kyushu University regulations. For further information, visit the following university website (in Japanese) or apply to the General Affairs Section, Faculty of Agriculture:
<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf>
General Affairs Section, Faculty of Agriculture (E-mail: nossyomu2@jimukyushu-u.ac.jp)
- (2) Probationary period: A three-month probationary period.
- (3) Place of employment: Faculty of Agriculture, Kyushu University Ito campus (744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka, JAPAN).
- (4) Working hours, Break time, Overtime: Based on Discretionary Labor System for professional work, it is regarded that working hours are 7 hours and 45 minutes irrespective of how much time the employee actually spends on his/her work.
- (5) Days off: Every Saturday and Sunday, national holidays, and New Year's holidays from December 29–January 3 in addition to an annual leave entitlement.
- (6) Social Insurance
Employee shall enroll in: Employment Insurance, Compensation Insurance, Health Insurance, Employees' pension Insurance.
- (7) Status of measures to prevent passive smoking: No smoking is permitted on the university premises.

13. Additional Information:

- (1) For more information about the criteria for the mid-term (3rd year) and final (5th year) examinations of the tenure-track position, please contact Professor Kaoru Takegawa the Head of the Selection Committee, by e-mail (sb-saiyo@agr.kyushu-u.ac.jp).
- (2) Kyushu University is an equal opportunity employer and follows the principles of the Basic Act for the Disabled Persons (Act. No.84 of 1970, revised in 2004 and 2011), Basic Act for Gender Equal Society (Act. No.78 of 1999), Act on Employment Promotion etc. of Persons with Disabilities (Act No. 123 of 1960, revised in 2013), and the Act on the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013).
- (3) Kyushu University deployed the System of Employment of Faculty Members with Accompanying Spouse (July 2017 and amended January 2018). For further information, visit the following university website (in Japanese), which links to Kyushu University Guidelines for this system (in English): <https://danjyo.kyushu-u.ac.jp/notice/view.php?cId=2600&>
- (4) For more information about the Faculty of Agriculture, please visit our website. (<https://ag.kyushu-u.ac.jp>).
- (5) Personal information included in the submitted documents will not be used for purposes other than screening.
- (6) If you have been disciplined in the past for sexual violence, including sexual harassment, against students, please be sure to enter the nature of the disciplinary action and the specific reasons for it in your resume or other documents. False statements may result in cancellation of employment or disciplinary action.